

アナフィラキシー

症状

- 全身的な蕁麻疹、痒痒または紅潮、口唇・舌・口蓋垂の浮腫の急性発症
＋呼吸器系症状 or 血圧低下
- 下記の2症状が出現した場合
全身的な蕁麻疹、痒痒または紅潮、口唇・舌・口蓋垂の浮腫
呼吸器系症状・所見
血圧低下
消化器症状(痙攣様腹痛、嘔吐)
- 抗原物質投与後の収縮期血圧 90mmHg 以下への低下

対応手順

1. BLS(「胸郭の上りを」見て、「呼吸音を」聞いて、「脈を」感じて)
→**頸動脈が触れず、呼吸が無ければ胸骨圧迫開始**
2. 人員を集める(院長へ連絡、招集。看護師を複数名招集する)
3. 循環管理
 - 心肺蘇生(頸動脈が触れなかったら)
 - ボスミン 10 μ g(0.2 μ g/kg) 静注 or 0.3mg 筋注
静注の場合
ボスミン1A+生食100mlに溶解して必要量を注射器でとり使用する。
4. 気道確保・人工呼吸
 - **100%酸素投与**
 - 呼吸補助(エアウェイ挿入、バックマスク換気など)
5. 喘息・喘鳴対応
 - メプチンエアを2プッシュ吸入
 - エフェドリン 5 mg投与(1Aを生食8mlで溶解した場合、1ml5 mg)
 - 上記ボスミン投与に準ずる
6. 再発予防
 - 再発作の懸念があるため高次医療施設への搬送を検討する